



▲会場となった高椋コミュニティセンターの  
“たかむく古城ホール”

# 第66回福井県公民館大会

平成28年10月5日(水) 坂井市高椋コミュニティセンター



▶▼ 表彰式



▲ 江岸会長のあいさつ

第66回福井県公民館大会は、市制10周年を迎えた坂井市にて、「あたらなまちづくりへの展望」をテーマに開催され、県内各地から公民館関係者約300名が一堂に集いました。

開会のあいさつでは江岸会長が、台風の影響により一時は開催も危ぶまれたが、予定通り開催できたことを皆さんとともに喜び合いたいと述べ、更に「近年公民館は集いの場、学びの場であるばかりでなく災害時には避難場所となり、また地域づくりの一端も担う等、様々な期待や要請が公民館やコミュニティセンターに寄せられているが、地域にとってなくてはならないものだ」と住民の方々から思っていただけのように、私たちは日々精進していかねければならない」と会場に呼びかけました。

表彰式では福井県公民館連合会表彰19名、広報紙コンクール12館、福井新聞社特別賞5館の表彰が行われました。続いて県教育庁松田健志教育振興監をはじめ、来賓の方々よりお祝いや歓迎の言葉をいただきました。

閉会の後、広報紙コンクール審査委員長の川端福井新聞社読者局部長から、コ

ンクルの  
講評をいた  
だきまし  
た。

記念講

演では、小  
笠原流礼  
法師範で  
礼法・マナ

ー講師の中川直美氏をお迎えし、人と接するときに大切な「おもてなしの心」についてお話いただきました。

礼儀作法というと一般的には堅苦しいイメージを持たれがちですが、その根底には「相手を大切に思う心」があり、おもてなしに通じることと語り、正しい姿勢からお辞儀、立ち座りなど、美しい所作の基本が示されました。会場の参加者も実際に椅子から立ち上がった体を動かしてみる一コマもありました。



▲ 講師 中川直美氏



事例発表をされた方々



▲ 坂井市雄島地区まちづくり協議会 長谷川哲章事務局長



▲ 坂井市城のまちまちづくり協議会によるミニ時代劇



▲ おおい町名田庄公民館 治部ひろみ主宰



▲ 福井市安居公民館 八木千才主宰

午後の部では、4つの団体による活動事例の発表の後、「あらたなまちづくりへの展望」住民主体のまちづくりとは何か、公民館やコミュニティセンターがどう支えていくのか」というテーマでのパネルディスカッションが行われました。

福井大学国際地域学部の田中志敬氏の進行により、それぞれの地域の特性を踏まえた上で、活動開始時の水面下の苦労や、継続する上での諸問題をいかに

克服したか等が語られました。

また田中氏は、発表された事例ではどの地域でも子ども達や若い世代をうまく巻き込んでいる点を評価し、「運営の第一線にいる大人が楽しそうに活動に取り組んでいる姿を子ども達に見せることで、次世代への継承という課題の解決につながるのではないかと述べました。

会場の参加者は熱心に聞き入っていました。



《パネリストの方々》

- ◇ 坂井市城のまちまちづくり協議会 会長 松江輝雄氏
- ◇ 丸岡城のまちコミュニティセンター センター長 嶋崎隆和氏
- ◇ 坂井市雄島地区まちづくり協議会 事務局長 長谷川哲章氏
- ◇ 雄島コミュニティセンター センター長 島崎昭治氏
- ◇ 福井市安居公民館 (27年度文部科学大臣表彰受賞公民館) 主宰 八木千才氏
- ◇ おおい町名田庄公民館 (27年度文部科学大臣表彰受賞公民館) 館長 知原宗隆氏